

リチウムイオン電池の火災が 発生しています！

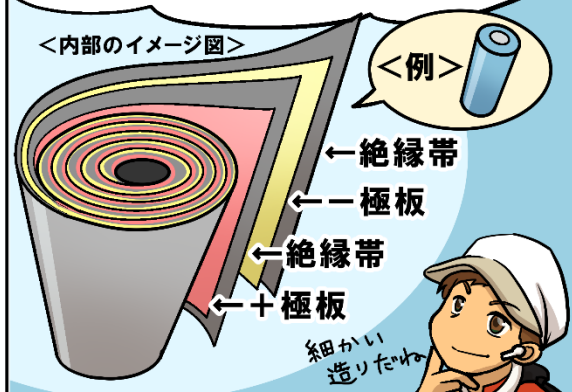
福岡市消防局



そんな電池知らなーい



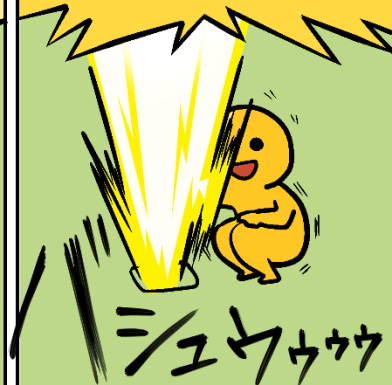
リチウムイオン電池の中身は
+極と-極が薄紙みたいに巻かれ
ていて、膨大な電力を持っている



だから 変形させたり
壊したりすると…



ショートして
すごく燃える!!



実際にあった火災事例がこちら！



※ 高温になるところに放置したことで出火しています。

【ポイント】

- 強くぶついたり落としたりしないようにしましょう。
- 暑い場所(車の中など)に放置しないようにしましょう。
- 取扱説明書に書いている充電方法を守りましょう。
- 膨らんでいる・熱くなっているなどに気づいたら使用しないでください。
- 捨てるときは、公共施設や電器店等の回収ボックスに持ち込みましょう。



電気火災
を防ぐ！



★福岡市消防局
イメージキャラクター
ファイ太くん

● ファイ太くんからのお願い ●

- 日頃の掃除の際に、配線や機器を確認しましょう。
- 自分で点検が難しいときは、専門の業者さんに依頼しましょう。
- 火災が起こったら避難が最優先。消火は逃げ道を確保して行い、安全な場所で119番通報を。
- 万が一の火災を知らせる住宅用火災警報器の設置、維持をしましょう。

- ★ 住宅用火災警報器は、設置から10年が経過すると電子部品の寿命や電池切れ等で火災を感知しなくなることがありますので、機器本体を取り換えましょう。



WITH
THE
KYUSHU